

通信機器ディーラーを元気にする

## 「商材」発掘!

ナビゲーター  
高橋 則夫  
YCS・技術顧問

Vol.1

## パケットとおるくん

開発 / 製造元: 台湾セラン・テクノロジー社 国内発売元: YCS

## SI抜きでVOIPができる簡単QoSボックス

IP対応ビジネスホンが徐々に浸透するなど、SOHOにもVoIP環境の構築ニーズが生じつつある。地方の拠点からWeb会議に参加したり、本社に置かれたSIPサーバーのリモート端末として、多機能IP電話機やソフトフォンを収容するケースが増えている。

WAN回線に音声やビデオ会議を乗せるにはQoS(優先制御)が不可欠だが、その機能を搭載するルーターはミドルレンジ以上の機種。SOHOでは機器コストが釣り合わないばかりか、高額な設定費用をSIに支払うのは非現実的。安価なブロードバンドルーターに、QoS機能を簡単に追加する方法はないものか。

この10月、こうしたニーズに最適なQoSボックスが登場した。最大30ユーザー、手のひらサイズのインテリジェントハブ「TM-30」がそれで、愛称は「パケットとおるくん」。定価は6万8040円、SNMP対応モデルが7万3500円で、特許出願中の製品だ。

## 簡単設定でQoSとLAN管理

TM-30はLAN側4ポートとアップリンク1ポートを搭載。WAN側のルーターと既存のハブやスイッチの間に設置して、背面のDIPスイッチでパケットの速度制限(64k ~ 100Mbps)をルーターに合わせる。

次にPCのWebブラウザでログインし、各ユーザーのMACアドレスか端末のIPアドレスを登録して、それぞれに4段階の優先度を選ぶ。その際、音声端末やメッセージャーは最高優先度とする。たったこれだけの作業で、ユーザー単位のQoSとセキュリティを実現。PCに専用ソフトをインストールする必要もない。

本装置はMACアドレス、IPアドレス、VLAN IDによってユーザーを識別し、トラフィック状況に応じて各

ユーザーの使用帯域を自動制御する。また、LAN上のパケットを24時間監視し、日次レポートを管理者に自動送信。ユーザーごとに毎日の累計送受信量の上限や使用時間制限(期限)を設定でき、これを越えた場合や、ウイルス感染等による異常なトラフィック、未登録ユーザーのアクセスを検知すると、当該パケットを遮断して管理者にHTMLメールで警告する。

スループットは100Mbps。ルーターに内蔵型QoSのような負荷をかけず、安定した速度を確保できる。

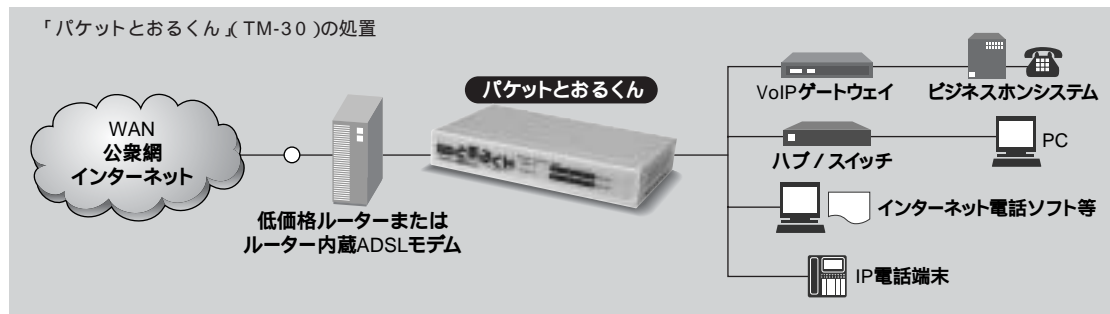
さらにSNMP対応モデルをプローブとして、遠隔拠点のLANを本社で集中管理。顧客企業向けに有償のネットワーク監視サービスを始めるのにも使える。

## 提案次第で広がる適用場面

TM-30を使えば、SIやルーターメーカーに一切頼ることなく、SOHOの実需に沿った通信環境を提供できる。Skype等の音切れを解消でき、Web会議やソフトフォン、ネットワークカメラ等を気軽に導入できるようになる。すでに住宅建材メーカーが10数拠点に一斉導入したほか、某メガキャリアやPBXメーカーが評価試験に入っているという。

SOHOに限らず、大規模オフィス内のワークグループ単位での導入、ホテルや学校でのインターネット利用やVODサービスにも最適だ。宿泊客や出向社員といった不特定多数のゲストユーザーに対し、LANの使用期限の設定、帯域制御、ログ採取などを実現できる。業務系サーバーとLANを共有しつつ機密情報にアクセス制限をかけたり、ノートPCの持ち込みによるウイルス感染や不正アクセスも予防。アイデア次第で多彩な提案材料となる。

「パケットとおるくん」(TM-30)の処置



 Yield  
Communication  
Systems

株式会社YCS

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-2 フォアサイトビル401  
TEL: 03-5822-6665 FAX: 03-5822-6667 URL: http://www.YCS.co.jp/